

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年 1月22日

計画の名称	33 鹿児島県における都市計画道路整備による交通安全対策	重点配分対象の該当
計画の期間	平成27年度～平成28年度(2年間)	交付対象 鹿児島県
計画の目標		

快適で活力ある生活空間の形成を図るため、安心して通行できる道路の整備を実施し、交差点や踏切など事故発生の危険度の高い区間の早期改善や高齢者や障害者等の交通弱者に配慮した歩行空間の確保による安心して快適なまちづくりを推進する。

計画の成果目標(定量的指標)	都市内道路の整備計画区間における走行損失時間をH28末までに2.7時間削減
----------------	---------------------------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)	
	100時間	—	73時間	

「走行損失時間」= (評価時走行時間 - 整備後走行時間) × 将来交通量

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	626.0 百万円	A	626.0 百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	—
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿児島県都市計画課	事業実施期間の終了後 公表の方法 鹿児島県ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
33-A-1	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	渡瀬通線	現道拡幅 L=0.7km	指宿市						32	—	—	
33-A-2	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	新設	新町線2	バイパス L=0.5km	霧島市						587	—	—	H29～防安全 p.43～移行
33-A-3	S街路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	S街路	改築	関屋線	現道拡幅 L=0.3km	志布志市						7	—	—	
合計																626	—	—	
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
合計																—			
C 効果促進事業(該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
									H27	H28	H29	H30	H31						
合計																0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考				

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年 1月22日

計画の名称	33 鹿児島県における都市計画道路整備による交通安全対策	重点配分対象の該当
計画の期間	平成27年度～平成28年度（2年間）	交付対象 鹿児島県
計画の目標	快適で活力ある生活空間の形成を図るため、安心して通行できる道路の整備を実施し、交差点や踏切など事故発生の危険度の高い区間の早期改善や高齢者や障害者等の交通弱者に配慮した歩行空間の確保による安心して快適なまちづくりを推進する。	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計										0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	都市内道路の整備計画区間における走行損失時間を平成28年度までの2年間で27時間削減した				
II 定量的指標の達成状況	指標 ・走行損失時間	最終目標値	73時間	目標値と実績値 に差が出た要因	目標どおり指標を達成した
		最終実績値	73時間		
	指標	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	高齢者や障害者等の交通弱者に配慮した歩行空間が確保され、安全性や快適性が向上した				

3. 特記事項（今後の方針等）

未完了の要素事業については、他の整備計画で事業を継続し、早期の効果発現を目指す
---

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	33 鹿児島県における都市計画道路整備による交通安全対策	交付対象	鹿児島県
計画の期間	平成27年度 ~ 平成28年度 (2年間)		

